



お台場学園だより



令和8年2月号
港区立小中一貫教育校
お台場学園
〒135-0091
港区台場1-1-5
小学校 03-5500-2572
中学校 03-5500-2575

笑顔は最大の武器

校長 吉野 達雄

寒さの厳しい日が続いています。この時期は空気が乾燥し、体調を崩しやすい季節でもあります。インフルエンザなどの感染症予防のため、マスクの着用は今も大切な対策の一つです。しかし一方で、マスクを続けることには、いくつかのデメリットもあるということを、私たちは改めて考えてみる必要があるのではないのでしょうか。

コロナ禍をきっかけに、マスクをつけることがすっかり生活習慣になった人も多くいます。もちろん、必要な場面での着用はとても大切です。ただ、常にマスクに頼りきりの生活が続くと、人が本来もっている免疫力や抵抗力が十分に働かなくなることにも指摘されています。人の体は、少量の菌やウイルスであれば、自分自身の力で防ぐ仕組みもっています。あまりにも清潔や安全を重視しすぎて、菌やウイルスに触れる機会を極端に減らしてしまうと、かえって体の防御力が弱くなってしまふこともあるのです。同じことは、生活の仕方にも言えるでしょう。暖房の効いた部屋にずっと閉じこもり、厚着をして過ごすことは、一見すると体に良さそうに思えます。しかし、時には少し寒いぐらいの環境で過ごしたり、薄着で活動したりすることが、自律神経を鍛え、体温調節機能や抵抗力を高めることにつながります。マネはできませんが、一年中半袖で過ごしている児童も数名います。すごいですね。もちろん無理は禁物ですが、「守りすぎない健康づくり」も大切にしたいものです。

マスクのもう一つの大きなデメリットは、コミュニケーションへの影響です。よく「目は口ほどに物を言

う」と言われますが、実際には目だけですべての気持ちが伝わるわけではありません。私たちは、口元や頬の動き、表情全体から相手の感情を読み取り、また自分の気持ちも伝えています。マスクでそれが隠れてしまうと、どうしても気持ちのやりとりは伝わりにくくなります。今、中学3年生は面接練習に取り組んでいます。質問に対して何を答えるかという内容ももちろん大切ですが、それ以上に、表情や雰囲気、話し方から伝わる印象がとても重要です。面接において、笑顔はまさに最大の武器です。マスクを外したとき、自分の表情で相手にどう伝わるのかをぜひ意識してほしいと思います。

そしてこれは、面接の場面に限ったことではありません。また、近年はスマートフォンやタブレットの普及により、人と直接顔を合わせて話す機会が以前より減ってきているとも言われています。画面越しのやりとりは便利である一方、相手の細かな表情や声の調子、ちょっとした間の取り方といった、言葉以外の多くの情報を感じ取りにくい面があります。だからこそ、学校という場で、互いの表情を見ながら言葉を交わし、気持ちを通わせる経験は、これまで以上に大切な意味をもっているのではないのでしょうか。人は、人との関わりの中で成長します。相手の表情を見て安心したり、笑顔に励まされたり、ときには相手の曇った表情からその心情を思いやったりすることで、思いやりの心や社会性が育まれていきます。今年も、笑顔がいっぱいの、幸せがいっぱいの愛があふれるお台場学園を目指していきます。

今年度、最後のふれあい月間が始まります

寒さの厳しい日が続く中ですが、子供たちは毎日元気に学校生活を送っています。6月、11月のふれあい月間では、各学級で人権について考える学習や話し合いを多く行ってきました。「相手の気持ちを考えること」「自分と違う考えを認め合うこと」「一人一人が大切な存在であること」など子供たちと共に多くのことを学んできました。

そんな中、朝、校門に立っていると必ず笑顔で「おはようございます!」と声をかけてくれる子がいます。寒い朝でも、自分から進んであいさつをしてくれるその姿に、私たち教職員もいつも元気をもらっています。あいさつは、相手の存在を認め、大切に思っている気持ちを伝える人権につながる大切な行動の一つです。人権は特別な場面だけでなく、日々の何気ない言葉や行動の中にこそ表れるものです。相手を思いやる挨拶、困っている人への声掛け、友達の良さを認める言葉など、小さな積み重ねが、安心できる学校づくりにつながります。

生活指導部では、今後も「自分も相手も大切にする」気持ちを育て、誰もが安心して過ごせる学校を目指して日々の指導に取り組んでまいります。年度のまとめの時期となりますが、ご家庭でも、ぜひお子さんと人権について話題にさせていただけると助かります。

(生活指導主任)

第4学年 いろはかるた大会

1月17日に1~4年生で「いろはかるた大会」を行いました。今回の大会では、4年生が初めて下級生をまとめ、進行やルール説明などを担当しました。

はじめは緊張した様子が見られましたが、次第に自分たちで声を掛け合い、落ち着いて大会を仕切る様子が見られました。下級生に分かりやすく伝えようとする姿や困っている子に優しく声を掛ける姿から、4年生としての成長を感じることができました。また、会場が静まり集中してかるとに取り組む姿が印象的でした。楽しみながらルールを守り、真剣に取り組む姿が素晴らしかったです。今回の経験を通して、4年生一人一人が自信をもち、今後の学校生活に活かしてくれることを期待しています。

【第4学年】

保健委員会より

今年度は、インフルエンザをはじめとする冬の感染症の流行が例年より早くみられました。現時点で本校では大きな流行は見られませんが、引き続き注意が必要であり、継続した感染症予防の取り組みが求められています。

お台場学園保健委員会では、感染症予防の最も効果的な手段の一つとして、「こまめな手洗い」を中心に、毎年啓発活動を行ってきました。今年度も冬の健康管理について意識を高めるために、手洗いやハンカチの持参、換気などを呼びかけるポスターを小・中学生それぞれが作成しました。完成したポスターを交換し、校内に掲示することで、学年を越えて意識を高め合う取り組みとなりました。

こうした活動を通して、中学生が小学生の良き手本となり、それが伝統となるような小中合同の活動ができるといいなと思います。

(保健委員会)

【2月の主な行事】

- 2日(月) 委員会(小学校)
- 3日(火) 社会科見学(3年)
- 5日(木) 避難訓練
- 6日(金) 漢字検定(小学校)
- 10日(火) TBS 出前授業(5・6年)
新一年生保護者説明会
- 12日(木) 遠足(さざなみ小)
- 13日(金) レインボー班活動(小学校)
- 17日(火) オンライン授業日(小学校・中学校)
- 19日(木) プレスクールⅡ(1年)
食農教育(5年)
- 19日(木)~21日(土) 学校公開・書き初め展・作品展
- 20日(金) クラブ(小学校)
卒業・進級を祝う会(さざなみ小)
- 21日(土) 海苔本刈り取り(4・5・7年)
都立高校一般入試日(中学校)
入学者説明会(中学校)
- 24日(火) 海苔佃煮作り(5年)
- 24日(火)~26日(木) 学年末考査(中学校)
- 26日(木) 6年生を送る会
保護者会
- 27日(金) 校外学習(5年)
卒業感謝の会
ESAT-J YEAR(7・8年)

【スクールカウンセラー(SC)・

スクールソーシャルワーカー(SSW)

相談曜日】

- 山田 早苗(SC) 月曜日(中学校)
- 山本 怜菜(SSW) 月曜日(中学校)
- 安間 明子(SC) 火曜日(小中学校)
- 吉原 道代(SC) 木・金曜日(中学校)
- 藤原 遥(SSW) 金曜日(小学校)

電話連絡先

- 小学校 03-5500-2572
- 中学校 03-5500-2575

